



ALPINE REPORT

第50期第2四半期決算報告書

2015年（平成27年）4月1日～9月30日

証券コード：6816

株主の皆様へ

Driving Mobile Media Innovation

モービルメディアの未来価値へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第50期第2四半期決算報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。

今期は、昨年度発表致しました2020年までの成長シナリオを示したVISION2020に基づき、2014年度から2016年度の3年間は高い水準の売上を維持し、2017年度以降の成長を目指した活動に邁進してまいりました。

アベノミクスに伴う円安や好調に推移した新車販売動向の追い風を受けた昨年度は計画を上回る好業績を達成しましたが、来期まで続く業績の踊り場基調に大きな変化はございません。一方、新規ビジネスの受注は順調に進み、2017年度以降の成長確度はより高まってまいりました。

また成長戦略として、VISION2020に掲げた「運



転支援領域」及び「クラウド領域」を強化するため、当社の重要なパートナーである中国屈指のソフトウェア開発企業 Neusoftと合併会社「Neusoft Reach Automotive Technology」を設立することを今年7月に発表致しました。今後のクルマ社会に不可欠となる重要な領域を強力なパートナーと推し進め、モービルメディアの新たな付加価値を創造してまいります。

自動車メーカー向けビジネスにおいては、今期も複数のお客様からサプライヤー賞を受賞致しました。これらはいずれも、当社の技術力や品質、付加価値提案においてご満足いただいた結果であり、大変喜ばしいことです。今後とも、より一層お客様にご満足いただけるよう努めてまいります。

足元では昨年度まで好調に推移した中国市場における新車販売の動向がスローダウンしていることに加え、上期に受注確保した将来ビジネスの開発着手に伴



う投資の増加などもあり、今期の業績予測を下方修正致しました。

昨今、事業環境の不透明感が増しているなど、下期においても様々な環境変化が予想されますが、自動車業界は成長産業であると捉えております。当社においては、引き続きお客様のカーライフを豊かにするイノベーションカンパニーを目指すという想いのもと、変化を成長へのチャンスにし、全社一丸となり業績改善に努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、株主の皆様からのご支援にお応えするため、中間配当につきましては一株につき、15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2015年11月

代表取締役社長

宇佐美 徹

アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1. 「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2. 「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3. 「社会への貢献」

アルパインは品位ある製品の提供を通じ、明日の豊かな社会作りに貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication
Cloud Service



Drive Assist
Cockpit Display

事業報告

音響機器事業

当事業部門では、市販市場向け、自動車メーカー向け純正品ともに、オーディオ機能がナビゲーションやディスプレイ製品など情報・通信機器と融合し売上が減少するなか、臨場感のある高音質を訴求したスピーカーやアンプなどサウンドシステムの拡販に注力しました。特に自動車メーカー向け純正品については、自動車の燃費や環境に配慮した軽量・薄型スピーカーが高評価を獲得、米国自動車メーカー向け売上が堅調に推移しました。しかしながら、欧州やアジア地域での市販市場向け及び自動車メーカー向け純正品の売上は減少したため、総じて厳しい状況で推移しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は275億円(前年同期比16.6%減)となりました。

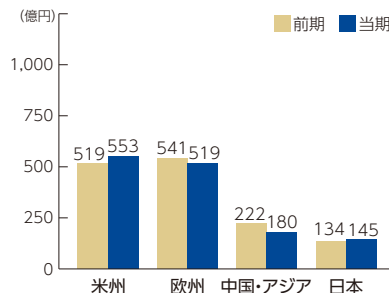
情報・通信機器事業

当事業部門では、国内市販市場に、業界に先駆け展開してきた車種専用の新製品、高精細液晶画面搭載10インチ大画面ナビゲーション及び大画面リアビジョンを投入、車種ごとに最適な車室内空間をデザインする高付加価値システムをお客様に提案し売上拡大を図りました。また、北米市販市場ではピックアップトラックやSUV(スポーツ用多目的車)向け車種専用大画面ナビゲーションの対応車種について、ターゲットをフォーカスした販売戦略へ方針転換を図るとともに、欧州市販市場ではEISA(European Imaging and Sound Association)より高評価を得た車種専用モデルの販売に注力するなど、海外展開を推進しましたが、厳しい状況で推移しました。

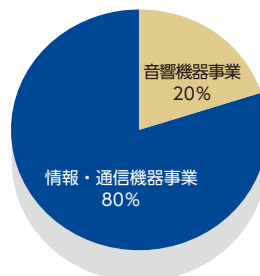
自動車メーカー向け純正品は、北米において米国及び欧州高級自動車の販売が好調に推移し、ディスプレイ製品の売上が増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は1,121億円(前年同期比3.3%増)となりました。

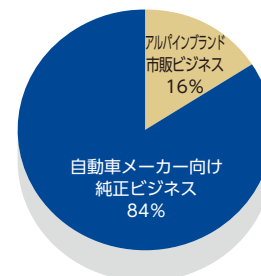
地域別売上状況



事業部門別売上比率



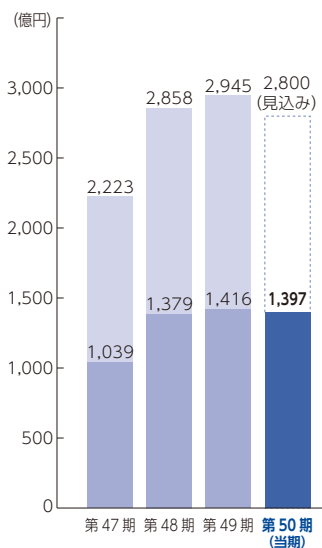
仕向け先別売上比率



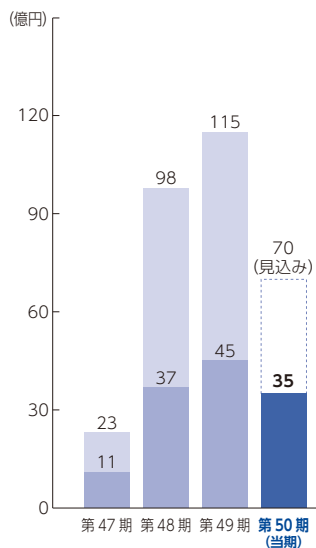


主要経営指標の推移

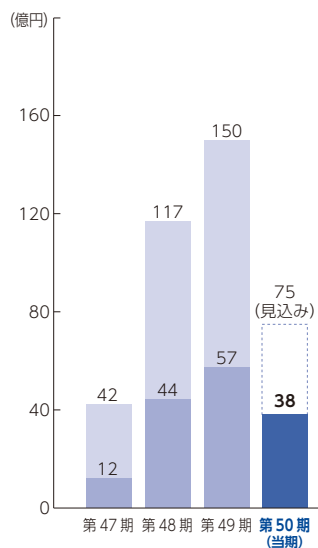
売上高



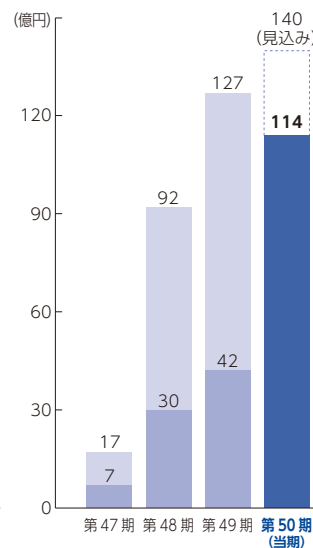
営業利益



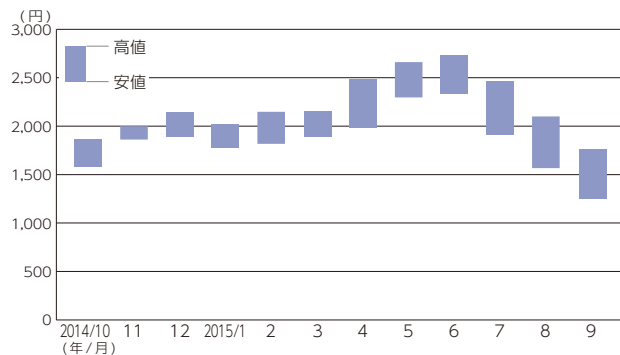
経常利益



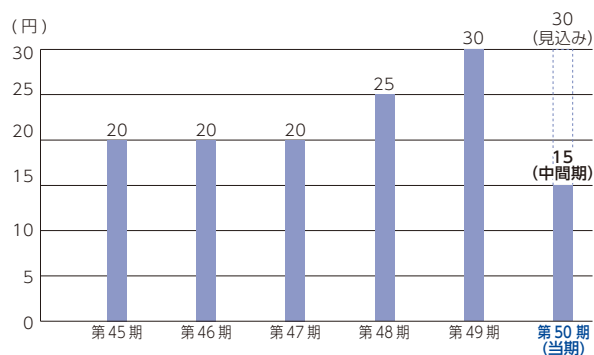
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



株価時系列データ



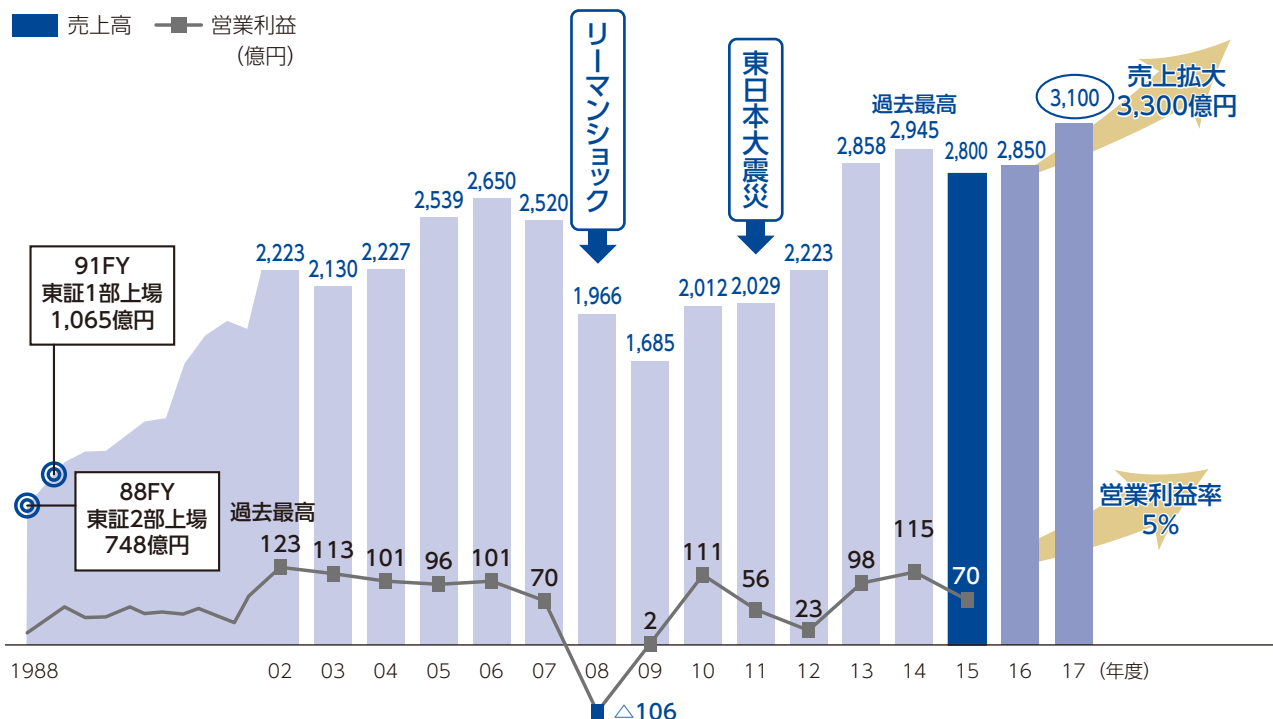
配当金推移



中期事業の見通し

■ 売上推移

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



昨年度策定したVISION2020では、2016年度まで2,800億円レベルの売上を維持し、2017年度以降に成長、そして2020年度に売上3,300億円、営業利益率5%を達成することを目標と致しました。

2015年度は、中国の成長鈍化に伴い新車販売がスローダウンしている影響と、新規受注に伴う先行開発投資の増加もあり、業績計

画の見直しを発表しました。

一方、上期の受注活動は順調に進み、2017年度以降の成長確度は昨年以上に高まっています。今後更に受注強化を図り、成長をより確実なものとしていきます。

自動車メーカーよりサプライヤー賞を受賞



FCA表彰式



VOLVO表彰式

2015年度上期、フィアット・クライスラー・オートモービルズ(以下FCA)、ボルボ・カーズ(以下VOLVO)、ホンダサウスアメリカ・リミターダ(以下ホンダサウスアメリカ)よりサプライヤー賞を受賞しました。今後お客様の戦略的パートナーとして当社らしい付加価値を創出してまいります。

■FCA[Innovation Supplier of The Year]

本賞は16部門から構成され、各部門3社のファイナリストから1社が選出されるもので、アルパインはイノベーション部門の最高賞を受賞しました。省スペース化・高音質・防水性を兼ね備えた革新的なサウンドシステムを高く評価いただき今回の受賞につながりました。FCAからは昨年度、電装系サプライヤーとして唯一のサプライヤー貢献賞もいただきました。

■VOLVO[Quality Excellence Award]

アルパイングループの製造会社であるアルパインマニュファクチャリングはVOLVOより優良品質を称えるQuality Excellence Awardを受賞しました。本賞は品質や改善活動に

関する12項目の評価をもとに選出されるもので、高い搬入品質目標を達成したことや継続的改善活動などが高く評価されました。VOLVOからは昨年度、技術賞も受賞するなど、サプライヤーとして高く評価いただいています。

■ホンダサウスアメリカ[2014年度搬入部門 優良感謝賞]

アルパイン・ブラジルはホンダサウスアメリカより搬入部門 優良感謝賞を受賞しました。昨年度から納入しているサウンド製品の生産・品質管理及び、出荷管理の徹底が高く評価されました。OEMビジネスにおいて品質はお客様のブランドイメージにも直結する重要事項であり、その品質に関わる賞を受賞できたことは大変名誉なことです。

中国にてオートモティブ関連分野の事業拡大に向けた合併会社を設立

7月29日、アルパインは東軟集团股份有限公司(以下Neusoft)と、オートモティブ関連事業における合併会社 東軟睿馳汽車技術(上海)有限公司(Neusoft Reach Automotive Technology:以下Neusoft Reach)を設立することで合意し、合併契約を締結しました。

中国屈指のソフト開発企業であるNeusoftとアルパインはNeusoft創業来20年以上に亘り、車載インフォテインメントシステムの製品設計と研究開発で戦略的関係を構築してきました。

新会社のNeusoft Reachは、これまでの両社の研究開発成果をベースに、①電気自動車などのバッテリーパッケージ管理とインテリ

ジェントチャージの重要技術、②画像認識やセンサーとの融合を中核技術とする高度な運転支援システム、自動運転の重要技術、③クラウドプラットフォームベースのテレマティクスやコネクティドカーなど、中国のクルマ社会における重要な技術開発に取り組み、事業化を図ります。

世界一の新車市場となった中国において、Neusoftと共にアルパインの更なる成長を目指します。



Neusoft

Neusoftとの歩み

Neusoftとの関係は、1988年まで遡り、当時アルパイン社長であった現 名誉顧問 沓澤と、中国瀋陽市の東北大学教授であったNeusoft 現 会長 劉氏との出会いから始まります。当時、将来のソフトウェアの重要性を予見していた沓澤と、中国No. 1のソフトウェア開発会社をつくりたいという劉氏の夢が重なり、1991年に中国東北大学との合併で「東大アルパイン」を設立しました。この東大アルパインがNeusoftの前身です。その後、Neusoftは着実に成長を遂げ上海市場に上場(1996年)、今やオートモティブ関連を始め、交通、インターネット、エネルギー、製造、流通など様々なソフトウェアソリューションを提供する従業員2万人を擁する大企業となりました。

国内市販ビジネス新製品展開



アルファード専用 ビッグXプレミアムシリーズ

今春、「ALPINE STYLEプレミアムスペースデザイン」という新たなコンセプトのもと、新製品を発表しました。市販製品でありながら車種専用で設計、車種ごとに最適な車内空間をデザインします。

WXGA液晶搭載による高精細10インチ画面のトヨタ・アルファード/ヴェルファイア専用モデルをはじめとした「ビッグXプレミアムシリーズ」の新製品など、多数の車種専用ナビを発売。12.8インチの大画面と高精細WXGA液晶を搭載した新型リアビジョンやドライブセンサー新型カメラシリーズも同時発売しました。

お客様一人ひとりのカーライフを豊かにすることを目的とした当製品は、ミニバンユーザーから高く評価いただいております。

海外市販ビジネス取組み加速



インドネシア国際オートショー アルパインブース

日本で好評いただいている車種専用ビジネスの海外展開を今年より加速しています。

アメリカではSUV(スポーツ用多目的車)ユーザーをメインターゲットとし、テレビCMやwebプロモーションを用いて、新たな市場開拓を積極的行っています。

ヨーロッパにおいては、AUDI向け車種専用ナビが欧州の権威ある賞を受賞しました。車種専用製品が同賞を受賞するのは昨年に引き続き2回目となります。市販製品でありながら、クルマ自体のシステムと融合したマルチメディア・ナビゲーションシステムであることが高く評価されました。

アジアでは、インドネシア国際オートショーへ出展。トヨタ・ヴェルファイアを使用したデモカーは、車種専用製品で車室内空間全体の高級感を演出し、来場者の高い関心を集めました。

引き続き車種専用ビジネスを中心に、海外のお客様へも豊かなカーライフを提供してまいります。

アルパイン夏祭り開催

7月31日、いわき本社において夏の恒例行事であるアルパイン夏祭りを開催しました。今年も従業員とその家族、またお客様や地域の方々などにもたくさんお越しいただき、来場者数は約7,500名にも上りました。

恒例のチャリティビンゴ大会や大花火大会などの様々なイベントに加え、子どもたちに自然環境の大切さともものづくりの面白さを伝えるイベントとして「環境保護についてのおはなし会」と「ペーパークラフト昆虫づくり教室」を開催し好評を博しました。

アルパイン夏祭りは、従業員同士が絆を深めるためのイベントであると同時に、日ごろより支えていただいている地域の皆様へ感謝を伝える貴重な機会でもあります。

いわき市と共に歩む企業として、地域の皆様との絆を大切に、地域活性化の一助となるような活動を継続してまいります。



夏祭り よさこいコンテスト

片山右京氏がチャレンジスクールを開催



チャレンジスクール校長 片山右京氏

夏祭りの同日、元F1レーサーの片山右京氏にいわき本社へご来社いただき、子ども達向けイベントを開催しました。

片山氏は東日本大震災をきっかけに、何度もアルパインへ足を運んでいただいております。従業員をはじめいわき市の方々を元気づけていただいております。

今回は、子ども達に「挑戦する楽しさ」を伝える「チャレンジスクール」を片山氏が校長となり開講いただきました。これは、社内のグラウンドに設置した富士スピードウェイの縮小版「IWAKI SPEEDWAY」を子ども達が自分たちの足で何度か周回し、徐々にタイムを縮めていくというトライアル競技です。

一生懸命に挑むあまり失敗する子どももいましたが、片山校長より「頑張ることは恥ずかしくない」、「みんなで大きな声で応援しよう!」という激励が飛ぶと、子ども達のやる気スイッチが入り、コース全体も頑張る仲間を応援する声で溢れていました。

参加した子ども達が成長したときに、挑戦する彼らの背中をこの日の思い出が押してくれることを期待しています。



新任役員メッセージ (平成27年6月就任)



略歴:

1981年 アルプス電気入社
2000年 ALPS ELECTRIC (UK) 取締役社長
2004年 アルプス電気 取締役
2009年 同 常務取締役(MMP事業本部)
2012年 同 専務取締役
2015年 アルパイン 専務取締役(現任)

こめ や のぶひこ
専務取締役 管理担当 **米谷 信彦**

株主総会にて取締役を選任いただきました、米谷信彦でございます。専務取締役を務めております。

1981年にアルプス電気に入社以来34年間、生産管理・購買・営業・製造と様々な業務を担当し、そのうち13年間は欧州に赴任しておりました。多くの人と知り合い、コミュニケーションをとることを重視してまいりました。アルパインでもできるだけ多くの人と直接話をする機会を設けていくことで、アルパインへの理解を更に深めていきたいと考えております。

昨今、クルマの情報端末化に伴い、当社のメイン製品であったナビは機能の一つとなりつつあるなど、当社に求められる役割は大きく変化しております。私たちはこれを大きなチャンスだと捉えております。また、順調だった車業界も一部スローダウンが見られますが、長期的には更に成長していくと予想されています。このような成長業界において、足元の業績改善はもとより、2017年度以降の成長に向け、アルプス電気での経験を活かし、広い視野を持ち、ありたい姿を見据えた活動を行ってまいります。

株主の皆様には今後ともご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



略歴:

1980年 アルパイン入社
1986年 ALPINE ELECTRONICS of AMERICA駐在
1998年 生産企画部長
2004年 DALIAN ALPINE ELECTRONICS駐在
2013年 アルパイン 理事 生産・購買副担当
2015年 同 取締役 生産・購買担当(現任)

かわらだ りょうすけ
取締役 生産・購買担当 **河原田 陽司**

株主総会にて取締役を選任いただきました、河原田陽司でございます。

アルパインに入社して今年で35年となります。その内の半分は米州・中国など海外で仕事をまいりました。直近では2012年まで8年間、中国の大連工場にて副総経理・総経理を務め中国市場の成長の早さと勢いを肌で感じておりました。

当社を取り巻く環境は確実に変化しております。特にAppleやGoogleなどの大手IT企業や異業種からの自動車業界への参入、中国を始めとするアジア系企業の台頭など、競合の顔ぶれの変化を顕著に感じております。また、お客様である車メーカーのグローバル化は一層進んでおり、当社のグローバル対応もより重要となってきております。

アルパインは海外生産比率、海外売上比率ともに90%を超えております。これは強みとも言えますが、一方で本社機能がある日本と世界各地域のSMDPQA*の各機能がしっかりと連携し、変化へ対応していくことが大切と考えております。アルパインのグループ力を発揮して、この激しい変化の中で成長を続ける企業を目指してまいります。

今後とも株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

*SMDPQA…Sales(営業)・Manufacturing(製造)・Development(開発)・Purchase(購買)・Quality(品質)・Administration(管理)

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

	第50期第2四半期 2015年9月30日現在	第49期 2015年3月31日現在		第50期第2四半期 2015年9月30日現在	第49期 2015年3月31日現在
資産の部			負債・純資産の部		
流動資産	155,509	142,952	流動負債	58,722	57,784
現金及び預金	71,593	56,150	支払手形及び買掛金	27,349	28,818
受取手形及び売掛金	35,034	42,238	その他	31,373	28,966
たな卸資産	35,379	30,657	固定負債	8,885	9,302
その他	13,501	13,905	繰延税金負債	4,100	4,301
固定資産	63,754	68,357	その他	4,785	5,000
有形固定資産	29,176	28,952	② 負債合計	67,608	67,086
無形固定資産	2,677	2,601	③ 株主資本	133,273	123,949
投資その他の資産	31,900	36,803	その他の包括利益累計額	16,645	18,511
			新株予約権	41	32
			非支配株主持分	1,694	1,731
			純資産合計	151,655	144,223
① 資産合計	219,264	211,309	負債・純資産合計	219,264	211,309

(単位:百万円)

[連結財務諸表のポイント]

① 資産合計

現金及び預金の増加154億円、受取手形及び売掛金の減少72億円、たな卸資産の増加47億円、投資有価証券の減少61億円、投資その他の資産のその他の増加12億円等により、前連結会計年度末比79億円増加の2,192億円となりました。

② 負債合計

負債については、支払手形及び買掛金の減少14億円、未払法人税等の増加43億円、未払費用の減少20億円、その他流動負債の減少5億円等により、前連結会計年度末比5億円増加の676億円となりました。

③ 株主資本

自己資本比率は68.4%であり、引続き財務の健全性を維持しています。

④ 売上高

当社グループはビジネス拡大を図るため、自動車メーカーに対する技術提案を強化し受注確保に努めるとともに、新規受注を獲得した自動車メーカー向けビジネスの製品開発を加速させました。また、タイや中国、インドネシアで開催されたモーターショーに出展し、ナビゲーションを核とした車種専用ソリューションの訴求を図りました。しかしながら、中国景気の減速に伴い、減少しました。

⑤ 営業利益

売上が減少したことに加え、製品モデルミックスが悪化したため、減少しました。

⑥ 特別利益

持分法適用関連会社株式の一部を売却したことから、関係会社売却益を計上しました。尚、この売却資金を用いて、改めて同社の持株会社及び新たに設立する子会社に出資します。

⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は15億円(前年同期は52億円の増加)となりました。この増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益194億円の計上、減価償却費36億円の計上及び売上債権76億円の減少による資金の増加と、関係会社株式売却益156億円の計上、たな卸資産45億円の増加、仕入債務27億円の減少及び法人税等の支払23億円による資金の減少です。

また、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは174億円の増加となりました。



連結損益計算書

	第50期第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日	第49期第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日
④ 売上高	139,757	141,630
売上原価	117,840	117,517
販売費及び一般管理費	18,366	19,583
⑤ 営業利益	3,550	4,529
営業外収益	944	1,397
営業外費用	649	171
経常利益	3,845	5,754
⑥ 特別利益	15,637	76
特別損失	8	22
税金等調整前四半期純利益	19,474	5,808
法人税等	7,969	1,541
四半期純利益	11,505	4,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,405	4,207

(単位:百万円)

連結包括利益計算書

	第50期第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日	第49期第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日
四半期純利益	11,505	4,266
その他の包括利益	△1,951	2,548
四半期包括利益	9,553	6,815

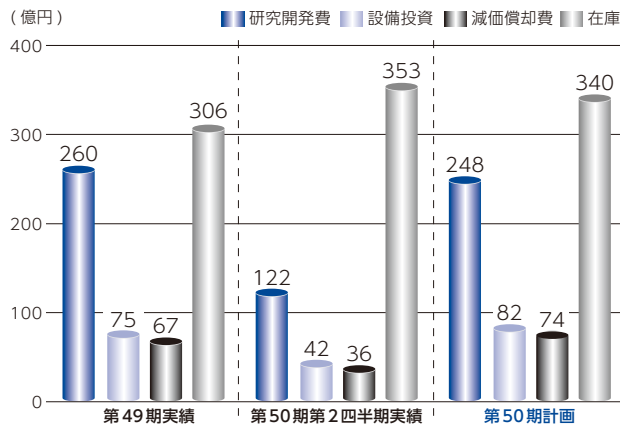
(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

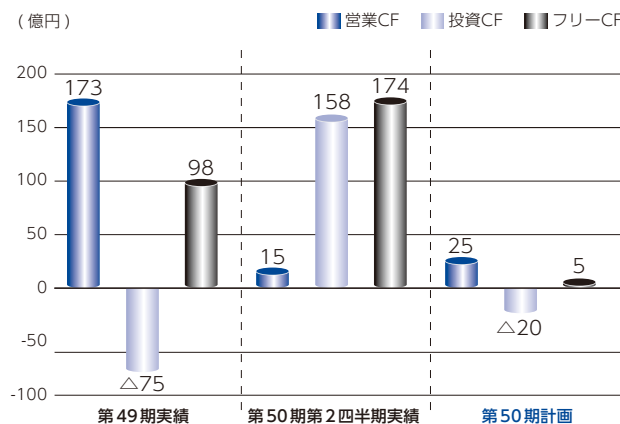
	第50期第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日	第49期第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日
⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563	5,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,899	△3,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,767	△1,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	△250	1,437
現金及び現金同等物の増減額	15,444	1,086
現金及び現金同等物の期首残高	56,130	46,680
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,575	47,766

(単位:百万円)

投資・在庫計画



キャッシュ・フローの状況



(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

会社概要 (2015年9月30日現在)

社 名	アルパイン株式会社
英 文 社 名	ALPINE ELECTRONICS,INC.
本 社 / 東 京 事 務 所	〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494)1101 (大代表)
い わ き 本 社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20番1号 TEL 0246(36)4111 (大代表)
設 立	1967年5月
発 行 可 能 株 式 総 数	160,000,000株
発 行 済 株 式 総 数	68,932,876株(除自己株式 851,625株)
資 本 金	259億2,059万円
グ ル ー プ 従 業 員 数	11,872名(連結ベース34社合計)
国 内 関 係 会 社	アルパインマーケティング株式会社 アルパインテクノ株式会社 アルパインマニュファクチャリング株式会社 アルパインプレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパインビジネスサービス株式会社 アルパインカスタマーズサービス株式会社 他4社
海 外 関 係 会 社	アルパイン・アメリカ アルパイン・ヨーロッパ アルパイン・中国 アルパイン・アジア・パシフィック 他26社
ホームページアドレス	http://www.alpine.com/j/

役員の状況 (2015年9月30日現在)

氏 名	当社における地位及び担当または主な職業	
宇 佐 美 徹	代表取締役社長	
米 谷 信 彦	専務取締役	管理担当
森 岡 洋 史	常務取締役	技術・開発統括
梶 原 仁	常務取締役	生産・購買・品証統括
水 野 直 樹	常務取締役	営業担当
小 林 俊 則	取 締 役	米州・欧州担当
遠 藤 浩 一	取 締 役	技術・開発副統括
田 口 周 二	取 締 役	OEM製品開発担当
池 内 康 博	取 締 役	中国担当
河 原 田 陽 司	取 締 役	生産・購買担当
片 岡 政 隆	取 締 役	アルプス電気(株)代表取締役会長
長 谷 川 聡 子	社外取締役	弁護士
飛 田 勝 美	常勤監査役	
江 尻 和 繁	監 査 役	
小 島 秀 雄	社外監査役	公認会計士
柳 田 直 樹	社外監査役	弁護士

※取締役 長谷川聡子氏及び監査役 小島秀雄氏は、東京証券取引所の定めに基づく「独立役員」です。



株式の状況 (2015年9月30日現在)

大株主	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
株 主 名	持株数	持株比率	持株数	持株比率
アルプス電気株式会社	28,215	40.43	—	—
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	2,560	3.66	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,935	2.77	—	—
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	1,372	1.96	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,326	1.90	—	—
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,280	1.83	—	—
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	1,160	1.66	—	—
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,044	1.49	—	—
GOLDMAN. SACHS & CO. REG	911	1.30	—	—
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	889	1.27	—	—
自社 (自己株口)	851	1.22	—	—
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	789	1.13	—	—
CREDIT SUISSE SECURITIES (EUROPE) LIMITED PB OMNIBUS CLIENT ACCOUNT	782	1.12	—	—
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	767	1.10	—	—
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	750	1.07	—	—
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	641	0.91	—	—
MSCO CUSTOMER SECURITIES	603	0.86	—	—
本田技研工業株式会社	585	0.83	3,600	0.19
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	575	0.82	—	—
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	562	0.80	—	—

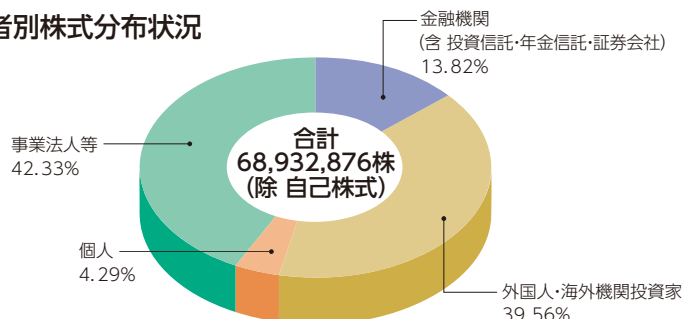
株主メモ

決算期日 年1回 3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 定時株主総会については、3月31日。
 その他必要がある時は予め公告致します。
 定時株主総会 6月
 公告掲載 電子公告により、当社ホームページ
 (http://www.alpine.com/j/investor/index.html) に掲載致します。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。

※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
 証券コード 6816
 売買単位 100株 (1単元)
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

所有者別株式分布状況



【株式に関する手続き】

お手続き・ご照会の内容	お問合わせ先
☐ 郵便物の発送と返戻 ☐ 支払期間経過後の配当金 ☐ 特別口座から一般口座への振替	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
☐ 単元未満株式の買取・買増請求※ ☐ 住所変更・氏名変更 他	口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。 ※但し、証券会社に口座を開設されていない株主様は、三菱UFJ信託銀行にお問合わせ下さい。

www.alpine.com



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しております。